

氏名	吉 村 一 穂		
学位(専攻分野)	博 士(医 学)		
学位授与番号	博 乙 第 2606 号		
学位授与の日付	平成 5 年 6 月 30 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)		
学位論文題目	脳卒中片麻痺患者の骨塩量とその意義に関する研究		
論文審査委員	教授 大本 堯史	教授 折田 薫三	教授 庄盛 敏廉

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳卒中片麻痺患者の全身と第 2～4 腰椎の骨塩量を dual energy X-ray absorptiometry にて測定し、骨塩量の変化のある部位、骨塩量と麻痺の程度 (Brunnstrom stage) および罹病期間との関係、性別間の差などについて検討した。

対象は脳卒中片麻痺患者131例 (男性77例の平均年齢65.8±11.7歳, 女性54例の平均年齢67.8±11.3歳: 全例閉経後) であり、発症から骨塩量測定までの期間は 1 週間から18年であった。

結果は麻痺側の上肢・下肢のみ有意に骨塩量が減少しており、骨塩量減少は女性および上肢にきたしやすかった。また上肢・下肢とも Brunnstrom stageⅣ以下例に、発症後 1 ヶ月以上経過した例に有意に骨塩量が減少していた。

これらの結果から骨萎縮防止のためにも、早期のリハビリテーション開始と歩行能力の獲得が大切である。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、dual energy X-ray absorptiometry の方法により脳卒中片麻痺患者の全身骨塩量を測定し、麻痺肢における骨塩量の低下が発症早期から認められることを明らかにしたものであり、運動療法の必要性を示す重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。